

地域の宝を 活かしてつくる 新たな国土

2010. 2. 27 (土)

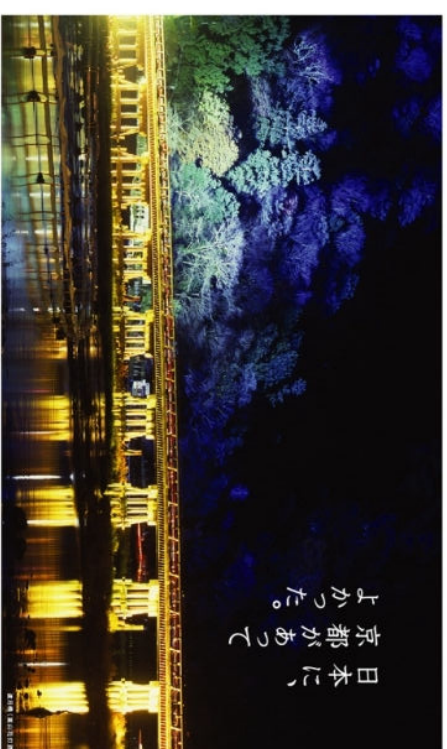
「東北の地域を考える」シンポジウム

東北大学 奥村 誠
東北アジア研究センター
工学研究科土木工学専攻

「日本に、東北があってよかった」
「世界に、東北があってよかった」

奥ゆかしい東北の人たちには、
このような「齒の浮いた」ことは、
言葉にできないだろう。

でも、いま、あえて、
自分の地域の「宝」を見出し
日本の人々、世界の人々への
貢献の仕方を考えるときってきている



日本に、
京都があつて
よかった。

東北大学 奥村 誠の講演会
東北アジア研究センター
2010年2月27日
京都市

山形に、山形中央高校 スケート部があつてよかった

「ワロレ」の「ワ」は「ワタリ」で「ワ」は「ワタリ」

第20回ワロレの「ワ」は「ワタリ」大会(2010/1/29-30)
VANCOVER 2010
XXI Olympic Winter Games
WITH GLOWING HEARTS

競技種別
選手の名前
ワロレの大会名
競技種別
国別総合競技大会
JOC
ワロレのワ
ワロレ
ワロレ

加藤 条治 (かとう じょうじ)
日本代表選手 男子 スケート選手

生年月日: 1988年2月18日
年齢: 22歳
性別: 男
身長: 166cm
体重: 69kg
出生地: 山形県
出身校(所在地)/在学校(学年): 山形市立第六中学校(山形県山形市中央区(山形県))
所属先/所属のクラブ: 日本電産ワタリ(株)
出場予定種目は花のワロレ: 男子500m

銅メダル
獲得

<選手プロフィールをクリック>

日本オリンピック委員会HPより

鶴岡（山形県）に、
クラゲの水族館があつてよかつた！



下村脩・米ボストン大名誉教授
ノーベル化学賞
授賞式（2008年）

「日本に、東北があつてよかつた」
「世界に、東北があつてよかつた」

なぜこんなことを、いま、
考えなくてはならないのか？

それは、国の、
地域づくりに関する法律が
根本的に変わったことと
関連している

・ 国土形成計画法（2005年）

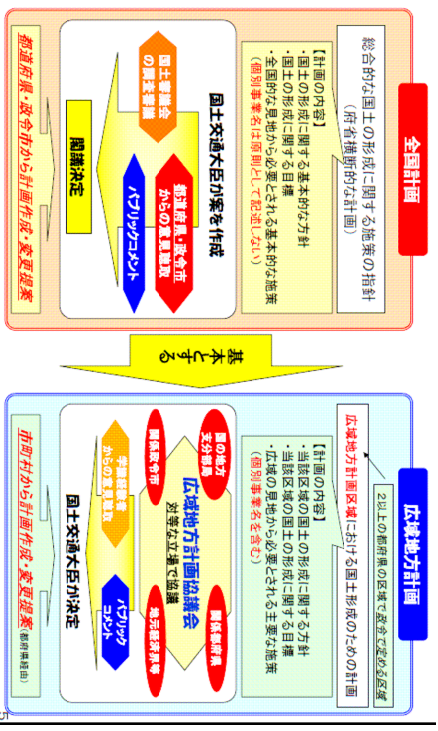
秋田に、韓流ドラマのロケが
できる場所があつて、よかつた！



2009/12/16 10:09
秋田県産業経済労働部 観光課 HPより

道州制と広域地方計画

・ 国土形成計画法（2005年）



国土計画の考え方が変化した！

- これまでの「国土総合開発法」(昭和25年)
 - 「国土の均衡ある発展」
 - 国が、すべての地域を引き上げる, 助ける義務
 - 都市圏住民の逆差別感→自民党政治の崩壊
- 今回の「国土形成計画法」(平成17年)
 - 各地域が、特長を活かして自分で努力するのが基本
 - 自地域の不利な条件を説明しても無駄
 - 日本国・世界に対し, 各地方圏が果たす役割を明記
 - 役割を確実に果たすための基礎条件を整備
 - 「ない・できない」から「ある・する」へ
 - 東北には何が、何ができるのか？

「北国さ」を考え,活かす

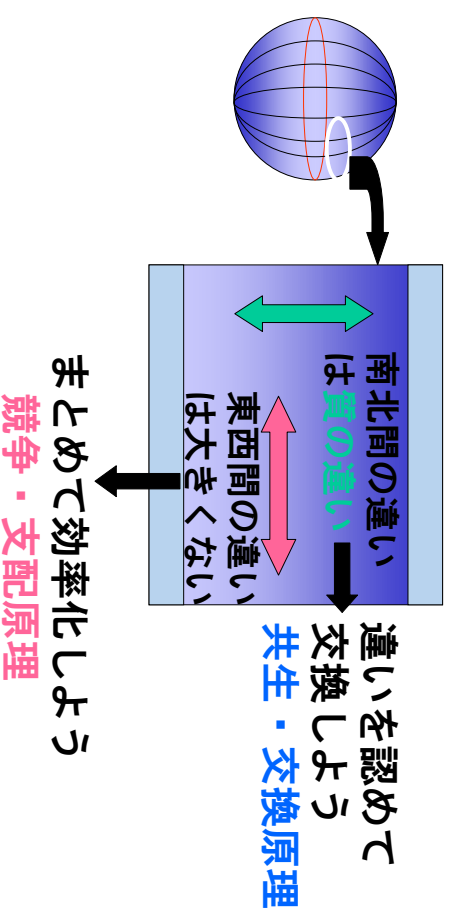


横手のかまくら(横手市観光協会HP)

日本の他地域 (や外国) になんか 東北の特徴とは何か？

- 異境性 (北国性: 遠い, 寒い, 暗い)
 - 中央とは同じ原理では説明できない別の土地
 - 北国特有の気候・風土を生かす
- 原境性 (発展から遅れて原日本が残存)
 - 遅れた地域, 取り残された地域?
 - 環境問題, 開発の負の側面への反省
 - 多自然地域 「周回遅れのトツプランナー？」
 - じっくりと自然に向き合う。量より質。

「北国さ」とは？



これからの世界の中では「北国」は狙い目

世界の今後の経済発展は「暑い所」か「寒い所」で起る（天然資源の開発）
 →「北国」に生きる知恵、
 北国の技術が重要になる

地球温暖化によって「北国」の希少価値は高まる
 →世界的に、「寒いところ」への観光が増える
 →利根川流域に雪がなくなり、
 関東で水・電気が欠乏

東北で鍛えるべき北国の産業

- 世界の歴史上、経済は温帯で発展
 - 多くの製品は温帯向きに開発されてきた
 - 他の地域ではそれを無理をして使っている
- 今後の経済発展は熱帯、冷帯中心 (BRICS)
- 寒冷地にあつた製品の提案と開発
 - ロシアの鉄道：復水式蒸気機関車
 - エネルギーや資源を無駄にしない製品
 - 温度変化による劣化を防いだ製品
 - 氷や雪の上をうまく使う乗り物？
- 寒い環境の中で、使用者からフィードバックを受けながら、商品・製品を鍛えること

賃金が高い日本の産業戦略【消費者】を生かす！

- コスト面での比較優位は長続きしない
 - 宮城県の自動車産業
 - (国内では)労働力が安く、ロシアに運びやすい？
- そもそも日本の賃金は、アジア諸国より高い
 - 高賃金を払っていることが強みにならないか？
 - 購買力を持ち、新製品に興味を持つ消費者
 - 海外旅行やメディアを通じて国際的に宣伝
 - 試作段階からチームをつけて改善を提案
 - 商品を使いこなすためのソフトウェア、工夫
- ものづくりと消費者との2人3脚で商品を鍛える

東北らしい観光：北国の観光

・ 南北の違いで人を呼び込む

表1 都道府県間観光旅行者の日程選択モデルの推定結果

説明変数	2泊以上		1泊		説明変数	日帰り	
	推定値	t値	推定値	t値		推定値	t値
60以上男性	0.372	6.17	-0.208	-7.88	航空滞在4時間以下	-3.813	-1.43
60以上女性	0.838	8.97	0.091	1.98	航空滞在4-8時間以下	-4.354	-3.93
30-60男性	-0.227	-3.78	-0.240	-9.78	航空滞在8-12時間以下	-3.114	-12.09
30-60女性	0.044	0.67	-0.170	-6.33	航空滞在12時間以上	-3.591	-0.64
30以下女性	0.300	3.62	0.163	4.94	鉄道滞在4時間以下	-2.734	-6.44
北海道	0.576	10.11	1.235	36.67	鉄道滞在4-8時間以下	-2.613	-18.27
東北	-0.086	-1.63	0.391	10.49	鉄道滞在8-12時間以下	-1.603	-13.59
関東	0.155	3.60	0.410	12.43	鉄道滞在12時間以上	-0.544	-5.41
北陸	-0.418	-4.18	0.048	0.92	自動車滞在4時間以下	1.257	10.91
中部	0.104	2.34	0.272	7.61	自動車滞在4-8時間以下	3.188	33.19
関西	0.003	0.04	-0.047	-1.22	自動車滞在8-12時間以下	2.315	26.02
四国	-0.352	-2.75	-0.487	-6.82	自動車滞在12時間以上	3.112	33.97
九州	-0.094	-1.47	0.199	5.70	初期无度	-63197.0	
温度差	-0.015	-2.98	0.016	3.43	最終无度	-25762.3	
緯度差	0.588	34.77	0.187	13.15	自由度調整	0.592	
温度差×緯度差	-0.064	-2.69	-0.094	-6.93	R ²		
目的地飲食店数	0.000	-1.35	0.000	-1.71	自由度調整		
定数項	-1.671	-14.16	-0.629	-6.22	近すぎる日帰りに		

東北らしい観光：北国の観光

地域の風土に自信を持って！

- 観光客は、日常と異なる場所を目指す
- そのような場所の実情を知らないのが当たり前
- 訪問地をよく知っているのは地元の人々のはず
 - 自分たちの風土、暮らし、文化、歴史の理解は？
- 自分で地域の環境の楽しみ方を学べ！
 - その日の天候や客の能力に合わせて適切な雪質と地形を持つスキーゲレンデを細かく紹介する
 - 訪問者の持つ持病や体の状態に応じて適切な温泉と入浴の方法を助言する
- 東北鉄道協会（H19～） 地方鉄道沿線住民送客ツアー
- 他人が来ないなら、地域の施設は自分達で使え！

東北人は、もっと遊ぼう！

都道府県名	海外観光客数(人口1万人当たり)		携帯電話普及率		インターネット利用の行動者率	
	人	割合	割合	割合	割合	割合
全	1,372.4		75.9	96,483,732	59.4	67,500
1 北海道	597.3	37	68.3	3,848,033	54.5	2,706
2 青森県	342.2	47	56.8	829,511	44.4	559
3 岩手県	403.0	45	55.6	785,893	45.9	561
4 宮城県	693.1	32	75.6	1,772,180	55.7	1,169
5 秋田県	375.0	46	57.1	659,981	45.4	461
6 山形県	517.7	40	59.7	723,751	45.7	491
7 福島県	598.1	36	62.3	1,252,698	47.6	877
8 茨城県	1,108.7	14	68.8	2,056,000	56.4	1,493
9 栃木県	1,004.1	17	68.6	1,377,620	54.8	982
10 群馬県	967.9	19	68.6	1,386,052	55.7	996
11 埼玉県	1,518.8	8	74.1	5,204,353	64.6	4,091
12 千葉県	1,809.0	3	73.5	4,437,370	64.6	3,513
13 東京都	2,535.3	1	113.5	13,931,459	70.8	8,139
14 神奈川県	2,150.1	2	79.2	6,887,241	70.7	5,583
15 新潟県	635.6	35	60.7	1,479,365	50.2	1,084
40 福岡県	1,104.0	15	75.3	3,786,891	57.3	2,553
41 佐賀県	706.4	30	62.8	548,024	48.5	364
42 長崎県	588.1	38	61.6	920,454	48.3	618
43 熊本県	703.7	31	62.6	1,164,209	51.6	830
44 大分県	600.3	33	62.5	763,025	49.7	527
45 宮崎県	491.0	43	60.5	709,715	49.2	495
46 鹿児島県	451.8	44	60.0	1,056,217	47.2	719
47 沖縄県	577.7	39	65.3	901,996	48.5	567

自分たちの持ち物を、 自分自身で評価しよう



- 食材はその地域に中で新鮮さを保ったまま、風土にあった料理に使われて、真価を発揮できる
- 「食の都・庄内」プロジェクト

- 地域が生産者・消費者・山形大学農学部などが連携し、在来作物や特別栽培農産物、庄内浜で水揚げされた魚介類などのこだわりの食材を地域の資源として活かし、歴史や風土に育まれた食文化の再発掘や安全・安心で豊かな食生活を提案しながら進めるブランドづくり

イタリヤ料理「アル・ケッチャーノ」奥田政行シェフ
<http://www.tv-asahi.co.jp/earth/contents/osarai/0557/>

中途半端な東北の売り出し能力

- 北海道は十分ブランド化できている
 - 北海道にしか「ないもの」がイメージできる
 - 本当は北欧やカナダのイメージかも？
- 東北は売込みがへた
 - まず、名前がわかりにくい
 - 「南東北の旅」？どこのこと？
 - 自ら評価できず首都圏からの評価に頼る
 - 「いわて食材倶楽部」「食材王国みやぎ」
 - 相手の地域（東京）に「ないもの」の評価を、相手の地域に任せることの不思議

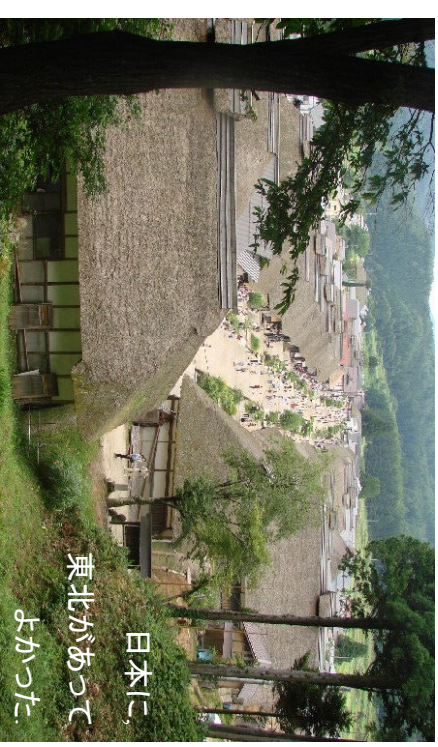


北国の交通

- ・ 滑る乗り物
- ・ 除雪を効率化できないか？
 - － デュアルモードビークル

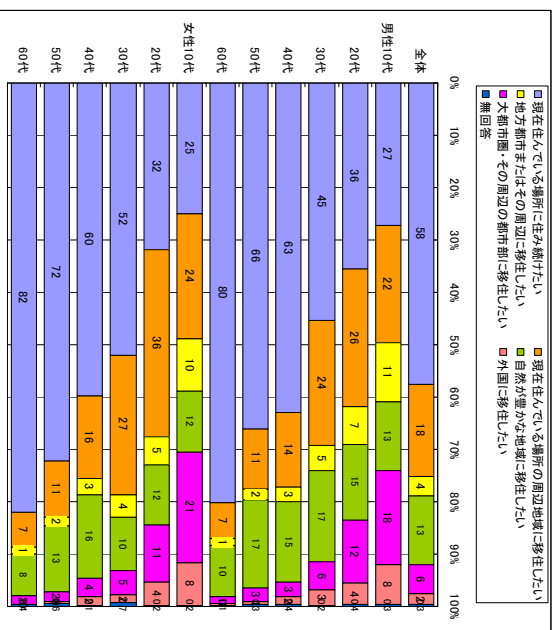
No.21

多自然さ、日本の原風景を活かす



福島県 南会津 大内宿

変化してきた若年層の居住志向



野村総研
による
アンケート
(1998)

人口動向の変化による縮み志向？

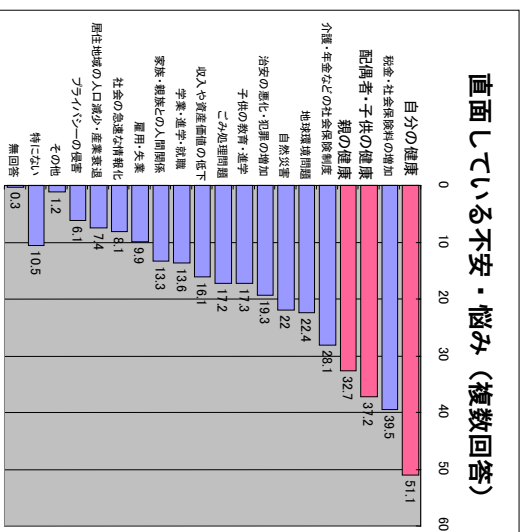
- ・ 高度経済成長期：高リスク・高リターン
 - － きょうだいが多人数
 - － 親元で生活を継続できないのが普通
 - － チャンスのある大都市に出たががんばるしかない
- ・ 人口減少期：低リスク・低リターン
 - － きょうだいが2人以下
 - － 待っていれば親から住宅が相続できる
 - － 気が向いたら大都市に出てもよい
 - － リスクの少ない出身地にいる方が安全で安心

人口減少期の低リスク志向

- 三高
 - 高収入、高学歴、高身長
- 三低
 - 低姿勢、低依存、低リスク

都市生活にはリスクが多い

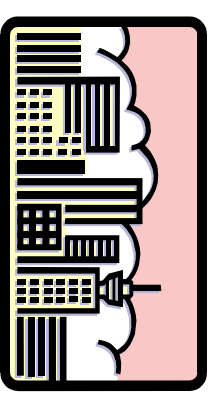
- 都市では、自分の力で食料、水、エネルギーが調達できない
- 他人に頼る必要がある
- 他人が信じられなければ、リスクだらけの世界



都会の豊かさは借り物？

都会の魅力は、実は世界・外国の窓口の魅力
 都会や外国の情報はITで流れてくる
 流通にもそのうち乗っかってくる
 いざとなれば、遊びにいけばよい

都会にある魅力は、これからの時代、ますます
 容易に手に入るようになるものが多い



大都市が失ったもの

大都市では
 いい自然環境(空気、水)は買えない
 通勤時間が長く、自由な時間が取れない
 地方の面白いコトの情報は流れてこない



多自然地域では

いい自然環境の恵みを享受できる

大都市のことは、スマホが教えてくれる

大都市で売れたものは、通販で入手できる

外国に行けば、大都市の魅力がより安く味わえる

仲間を作り、楽しむための時間が豊かにある

多自然地域のほうが本当は豊かな時代になった

自然のペースに合わせた生き方

無理をしない。急がない。
確かに時間はかかる。

でも、じっくりと時間をかけて取り組む
少数を選び、手塩をかけて「はぐくむ」

「量」よりも「質」

スローライフ
ロハス・エコ

農産物高付加価値のために

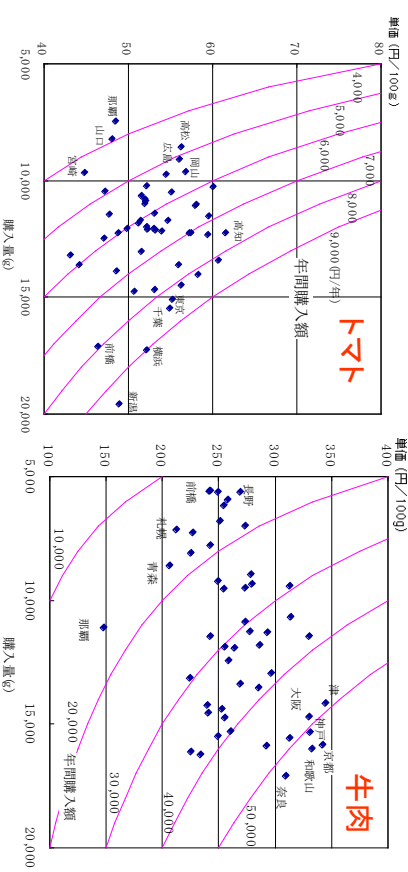
環境の良い農村に住むことで
きないが、農畜産物を通してその
恵みを楽しみたい。

環境と生き方の地域コンテスト

- ・産地の自然環境が守られている
- ・栽培家が健康で、誇りを持って農業に取り組んでいる
- ・かわいいそうな農民, 苦しんでいる農民からわざわざものを買おうとは思わない

農作物リターンの向上政策

これだけ違う購入価格(家計消費調査)



整備の方向性と交流の重要性

交流の機会を活かし、地域の健康な生活
をアピールすることが必要。

都市住民がうらやむ結果として、農畜産物の高付加価値化ができる。

地域の生活改善 + 交流 → 農業振興

多自然さを活かす姿勢

- ・自然の持つ恵みを引き出す
- ・自然のペースに合わせる
- ・人の都合，人為を優先させない
- ・採り尽くさない。次の世代への「おため」
- ・自然の変動をよく見る。自然のリズムと「つきあう」

シベリアなど，世界に通用する立派な考え方

東北で鍛えるべき多自然技術

- ・大きく広がった空間に存在する密度の低い情報を集約し、うまく自然と付き合う技術
 - 衛星リモートセンシングデータからの異常検知
- ・情報収集を動物や植物の優れた能力に任せる
 - シベリア原住民のトナカイ放牧技術
 - ・新しい牧草はトナカイ自身に探させる
 - ・トナカイの行方は別のトナカイに探させる
 - 植物を用いた地下水位モニタリング
 - ・崩壊の危険性がある道路に木を植える。
 - ・光合成の活性度をリモートセンシングで収集
- ・人工物や人為に頼らない安上がりな環境管理

東北らしい多自然型観光

- ・地元の生活を体験することに価値がある
- ・「標準的なサービスの型」にこだわらない
 - 山の中の温泉で「はまちの刺身」を出すな！
 - 誰も大都会の料亭並の料理は期待していない。
 - 自分や、知り合いの手で集められた素性がわかり、信用できる食材のみを使うべき
- ・その地域の制約を表に出せ！
 - 時化れば食べられない魚にこそ意義がある

観光戦略：仙台都民を生かせ

2008年10月～12月：仙台宮城ダイナミックツアーキャンペーン

表2 宮城県の観光入込み客数

	08年10月	前年比	08年11月	前年比	07年10月	07年11月
宿泊客	170,359	0.897	177,074	0.941	189,820	188,211
入込み客	265,865	1.092	129,092	1.341	243,431	96,240
入込み客	1,850,203	1.004	915,279	1.055	1,842,441	867,194
入込み客	306,022	1.052	267,269	1.114	290,999	240,003
入込み客	603,441	0.951	584,866	1.044	634,495	560,086
入込み客	3,025,531	1.005	1,896,506	1.075	3,011,366	1,763,523

宿泊客は増えていない

地震被害の大きい県北と，仙台松島と以外で入りこみ増加

要するに，仙台の人が近場の魅力に気づいた！

観光戦略：仙台都民を生かせ

表3 平均年齢と順位(平成17年国勢調査)

東北地方	44.7	仙台市	40.5	3
青森県	44.7	札幌市	42.3	8
岩手県	45.4	さいたま市	41.2	4
宮城県	42.8	千葉市	41.7	6
秋田県	47.1	東京都都部	43.2	11
山形県	45.8	川崎市	40.3	1
福島県	44.2	横浜市	41.9	7
北海道	44.4	静岡市	44.1	14
関東地方	42.4	名古屋市	42.4	9
中部地方	43.4	京都市	43.0	10
近畿地方	42.9	大阪市	43.6	13
中国地方	44.7	神戸市	43.4	12
四国地方	45.6	広島市	41.6	5
九州地方	43.6	北九州市	44.5	15
全国	43.3	福岡市	40.3	2

都道府県内の順位

15大都市内の順位

観光戦略：仙台都民を生かせ

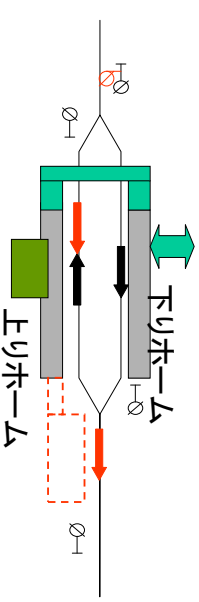
- 大学生の母親をターゲットに！
 - 東北大学：84%が県外，56%が東北以外の出身
 - 子育てが一段落し，時間と金に余裕がある
 - 「子供の面倒を見る」という言い訳が可能
- 母親をリピーター化し，友達を呼び込む
 - 人数の少ない時代の子供は感謝をしない
 - 子供に代わり「感謝」を感じさせる仕組み
 - ・ 母子連れを割り引くようなサービス
- 仙台都民を手始めに芽づる式に呼び込む

密度の低い地域の交通

- 密度が低いことは確かに苦しい
- 密度の低さを逆手に取る
 - 安全を犠牲にせず工夫ができる
- 他人の「ふんどし」で相撲を取る
 - 北海道～関東間の交通需要でサービスを支えてもらう

密度の低さを生かした解決策の例

- 鉄道駅（単線区間）のバリアフリー化



- ① 跨線橋にエレベーターを設置する
- ② 下り列車も駅舎側のホームを使う
- ③ 下り列車用に簡単なホームを作る
- ④ 客に下りホームに直接出入りしてもらう

「バリアフリー=エレベーターの設置」という視点とは異なる視点

「日本に、東北があってよかった」
「世界に、東北があってよかった」

奥ゆかしい東北の人たち自身が、
このような「齒の浮いた」ことを、
言葉にする必要はない。

でも、日本の人々、世界の人々が、
[東北の宝]のよさに気づき、
このように言ってくれるように
なってほしい。